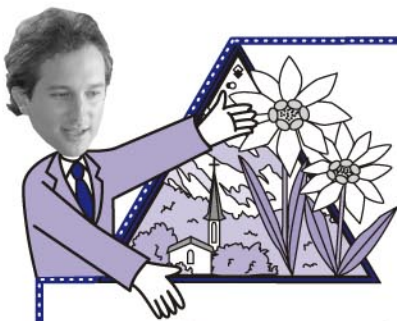




クリストフ・ソーターの 「ビヤーンヴェニユ・アン・スイス」

里 帰 り

去年末の期間を活かして、1年半ぶりに里帰りしました。その機会に、ずっと逢っていなかった家族や親戚などにまた出逢えて、和気あいあいとした雰囲気の中で楽しいクリスマスとお正月を過ごしました。そこで、今回は地元へ帰国した際に、日本との違いや感じた事を書きたいと思います。

食べ物について

今回里帰りして年末年始の食事をしましたが、ヨーロッパの年末の食事はフォアグラや鴨肉、お酒、チーズをたくさん食べますが、とても重い！僕は2週間で3キロぐらい太ってしまいました。実は、ご馳走を頂いても、日本食の方がヘルシーでいいと思いました。とにかく、好きなチーズやお肉など、久々に食べる味が嬉しく止まらなかったです！

店の一般のサービスについて

店のサービスについては、本当にだめだと思いました。日本の店員さんは親切で、なんでもサービスをしてくれますが、スイスとフランスでは店員が少ない上、何かを聞いても、よく面倒くさそうな顔で答えたりするので、何も聞きたくないほど、本当にいけないと思いました。

クリスマスの雰囲気について

パリのクリスマスのイルミネーションはやはり素晴らしかったです。クリスマスはヨーロッパで過ごすほうが本当のクリスマスの雰囲気を感じるなと思いました。そして、家族と一緒に過ごすお祝いなので、今回は1年ぶりに家族とクリスマスをお過ごしで本当に良かったです。



交通事情について

運転の方はヨーロッパは日本と反対なので日本の車線に慣れてしまっていたので、少し戸惑ってしまいました。でも、あっと言う間に平気で運転でき、右側通行も左側通行も両方に慣れてきたなと思いました。

お正月について

ヨーロッパのお正月は日本ほど大きなお祝いをしません。クリスマスからの延長みたいな感じで、家族や友達と食事をしたりする以外は特別な事はしません。今度は、ヨーロッパより日本の家庭で正月を過ごしてみたいと思いました。

そして、今回上齋原でもらったお餅をスイスに持って帰り、お正月にみんなに振る舞いました。美味しいと言う人と、苦手な人に分かれたのですが、僕はお餅が大好きなので、また帰る時にはお餅と日本のお米も持って帰りたいと思いました。

最後にフランス語で「おやすみなさい★」を覚えましょう！

「BONNE NUITー、ボンニニユイ！」です。

また次回よろしくお願いします。

マイバッグ運動にご協力ください

スーパーなどでもらえるレジ袋を減らす為のマイバッグ運動は、石油資源の節約による「省資源」とごみの減量により「環境保全」を目的とした市民運動の一つで、各地で行われています。

マイバッグのメリット

- ◎ ごみを減らすことができます。
- ◎ 資源を節約できます。
- ◎ ごみ減量の意識が高まります。



鏡野町では、本年度（社）岡山県環境衛生協会津山支部のマイバッグ運動推進モデル事業補助金により事業を実施しました。

事業費に限度があり、以前鏡野地域では各戸に配布しているため、鏡野地域以外の事業効果の期待できる婦人団体等で取り組むこととなり、奥津地域では親子クラブに、上齋原・富地域では婦人会に、合計142袋のマイバッグを配布し、事業の推進を図っていただいております。

今回配布したマイバッグはレジカゴバッグで、レジの際レジカゴにかぶせて利用するもので、買った物を自分で荷造りする手間もかからず、レジカゴから抜くだけで持ち帰りの出来る大変便利なバッグです。

今後、ごみの減量化・資源の節約につながるよう、特に鏡野地域では以前配布のバッグをご活用いただき、また、町民の皆様もこの運動の推進に広くご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。

お問い合わせ：鏡野町役場町民課 ☎0868-54-2984